

# 専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシー尺度

## The Scale of Core Competencies Required for Nurses Practicing Specialized Palliative Care

本尺度は、専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシーについて、現在の自身のコンピテンシーに対する認識を評価する際や専門的緩和ケアに関する看護師教育の有効性を評価する際等にご活用いただくことを目的としています。

本尺度は、すでに信頼性・妥当性が保証されています<sup>1)</sup>。

### 1. 使用方法

- ◆ 本尺度の使用にあたり、使用許諾は必要ありません。
- ◆ 本尺度は、コアコンピテンシーに関する設問として、7 領域（カテゴリー）、39 項目から構成されています（表 1 参照）。
- ◆ 本尺度において、「専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシー」とは、「専門的緩和ケアを実践するうえで看護師が身につけるべき必須の実践能力で、知識・技術・態度の要素を統合したものと表され、ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケアの場で共通に求められるもの」を指しています。
- ◆ 各設問の内容は、変更して使用することはできません。ただし、表紙につきましては、状況に応じて変更してもかまいません。
- ◆ ご使用に際し、ご質問がある場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### 2. スコアリング方法

- ◆ コアコンピテンシーに関する設問において、全項目、または領域毎の項目の平均点を算出する

【回答形式】‘5. とてもそう思う’ ～ ‘1. 全くそう思わない’

※ 平均点の参考値として、尺度開発時のデータ（n=795）を掲載しております（表 1 参照）。

### 【引用文献】

- 1) 新幡智子, 田村恵子, 市原香織, 高野純子, 川村三希子 (2021) 専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシー尺度の開発—信頼性・妥当性の検証. 第 35 回日本がん看護学会学術集会: P9-157.

表 1：コアコンピテンシー尺度の領域毎の構成

領域（カテゴリー）	項目数 該当設問 No	得点範囲	【参考値】 平均点（SD）
患者・家族のありのままを理解し、尊重する	4 No.1~4	4-20	14.93(2.36)
患者・家族のケアニーズを洞察し、問題に早期から対応する	3 No.5~7	3-15	11.35(1.66)
患者・家族のスピリチュアルな苦悩に向き合い、支える	3 No.8~10	3-15	10.73(2.00)
専門的緩和ケアを実践するうえで遭遇する自己や協働するメンバーのストレス・悲嘆に対処する	3 No.11~13	3-15	10.99(1.97)
協働するメンバーをエンパワメントし、良好なチームを育む	10 No.14~23	10-50	33.51(6.29)
患者・家族のニーズや状況に応じて、柔軟にコーディネートする	6 No.24~29	6-30	20.83(3.64)
意欲的に専門的緩和ケアを担う看護師としての役割・責任を果たす	10 No.30~39	10-50	35.93(5.77)
合 計	39	39-195	138.28(19.60)

### 3. 問い合わせ先

日本ホスピス緩和ケア協会事務局

電話：0465-80-1381 E-mail: info@hpcj.org